



けいはんな学研都市の現状や取組について



けいはんな学研都市の所在と12のクラスター

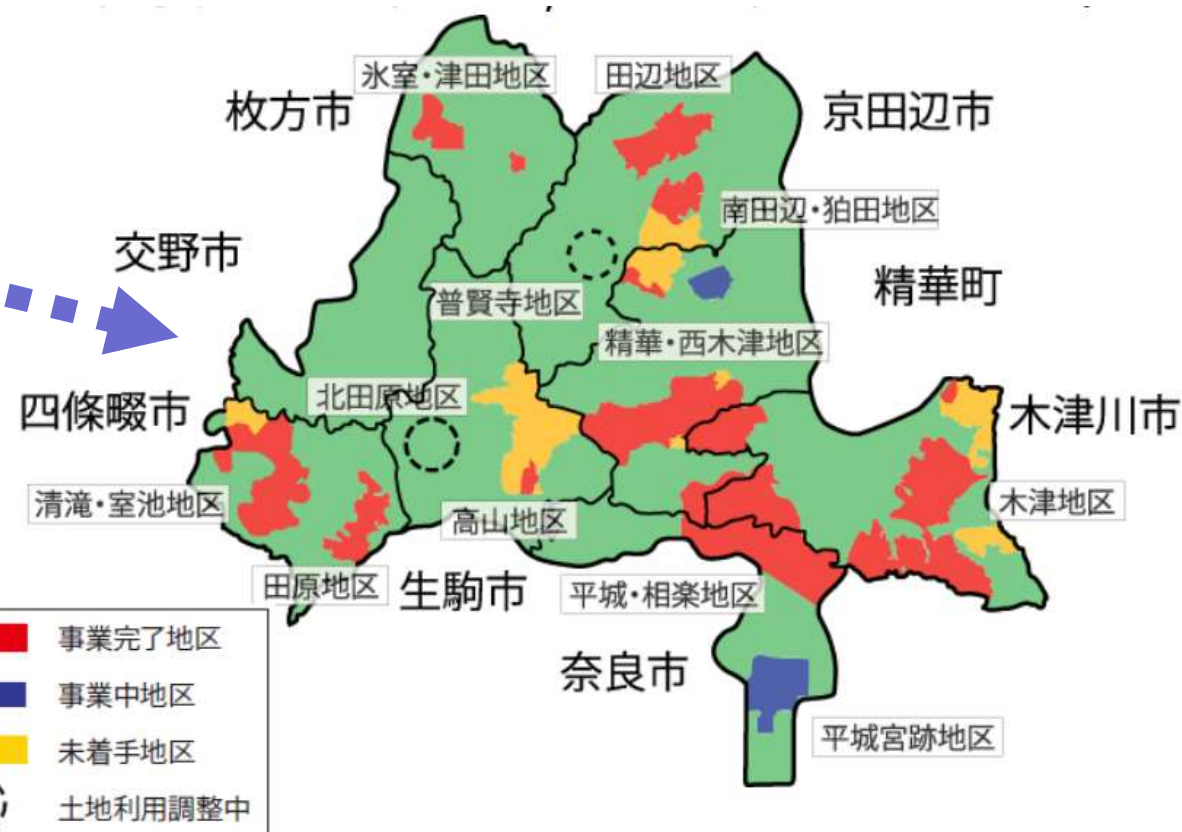


京都・大阪・奈良の3府県・8市町にまたがる

関西文化学術研究都市（けいはんな学研都市）



学研都市全域 15,000ha
うち、文化学術研究地区 3,600ha（12クラスター）



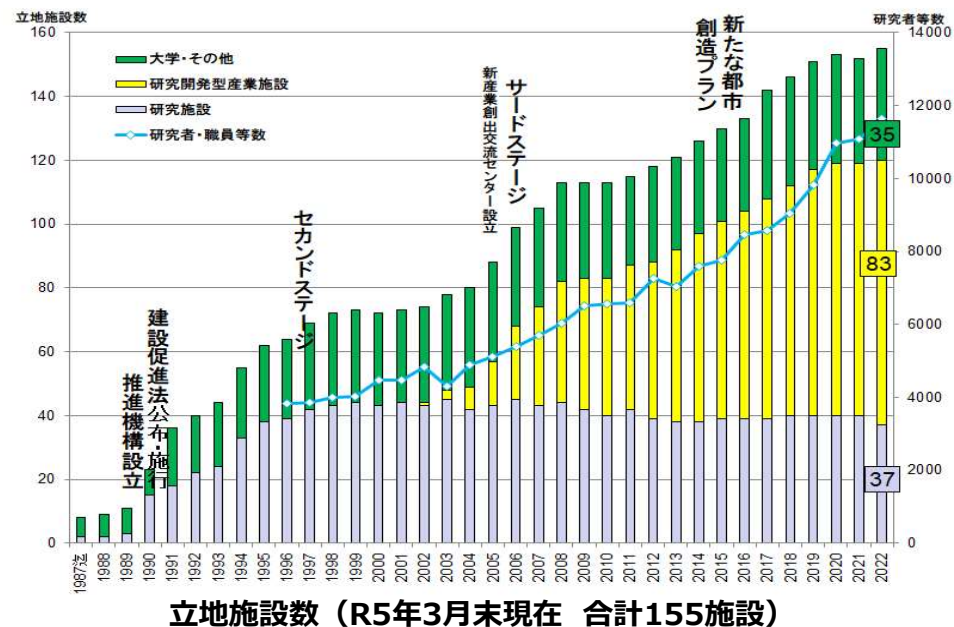
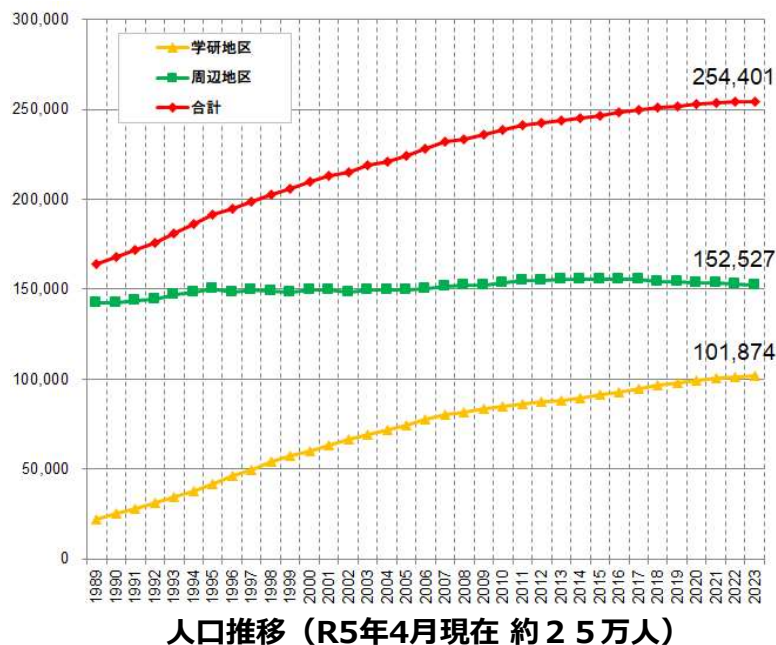


大 学			中核の研究機関等		
1	奈良先端科学技術 大学院大学		1	(公財) 国際高等研究所	IIAS
2	大阪大学大学院	工学研究科 自由電子レーザー研究施設	2	(株) 国際電気通信基礎 技術研究所	ATR
3	京都府立大学	(精華キャンパス)	3	(国研) 情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所	NICT
4	同志社大学	(京田辺キャンパス)			
	//	(多々羅キャンパス)	4	(公財) 地球環境産業技術 研究機構	RITE
	//	(学研都市キャンパス)			
5	同志社女子大学	(京田辺キャンパス)	5	(国研) 量子科学技術研究 開発機構 関西光量子科学研究所	QST
6	大阪電気通信大学	(四条畷キャンパス)			
7	京都大学大学院	農学研究科附属農場	6	国立国会図書館 関西館	NDL
			7	(国研) 理化学研究所	RIKEN

けいはんな学研都市の現状と成果

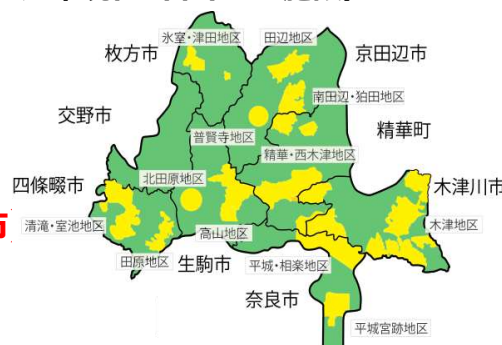


- 都市びらき概ね30年が経過、立地施設・人口ともに増加（155施設、人口：約25万人）
- 12の文化学術研究地区（クラスター）の整備が進み、用地無、新たな開発（約600ha）が始動
- 産学公に加えて、住民の参画を得て実証事業を行える土壌生育（POC約100件、住民サポーター）
- 多様な分野で際立った研究開発の成果（IPS細胞、AI多言語同時翻訳、CCS、対話型アンドロイド）
- 海外の支援機関等（34か国、約360機関）と日本企業を結ぶグローバルネットワークを構築



さらに推進すべきテーマ

- 新たな交流を生むプラットフォーム・土壌づくり（大学共創事業、けいはんな万博）
- 革新的な技術シーズ（人、技術）を育成する（ポスト万博へ、先端技術実装都市）
- 母都市（大阪・京都、奈良）とのよりアクセス性向上（特に京阪奈EXP）



実証実験プラットフォーム（K-PeP）の取組み



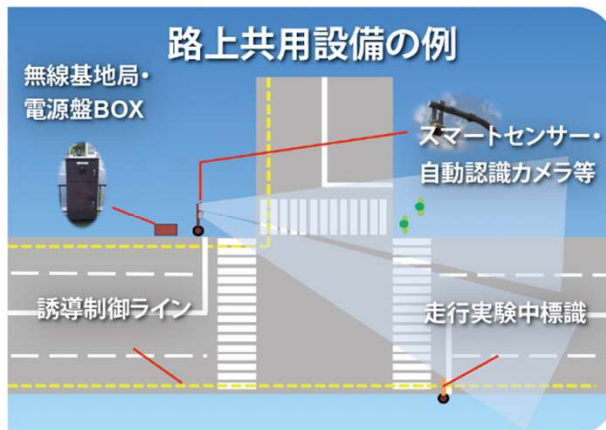
＜けいはんな公道走行実証実験プラットフォーム K-PePとは＞

自動運転等の新技術や新たな交通システムの確立に向け、けいはんな学研都市が有する様々な資産を活かした日本で初めての企業乗合型、住民参加型の公道走行実証実験プラットフォーム
【利用・利用検討機関 22 機関】（R5.12末現在）

各社が乗りあう実証実験内容例



提供予定の設備・サービス（順次整備）



設立の趣旨： 研究・開発・事業化・街づくり等において、住民目線でのご意見や住民のクリエイティビティを反映する

けいはんな地域を中心とした住民によるコミュニティーを形成（自主登録制）

*** 2023年10月末現在
会員数3,453名**



参加

住民のクリエイティビティを活用
○アンケート調査



○ワークショップ
（アイデア検討、有効性検討等）



○実証実験



等

参加

産業界 大学 研究機関 行政

豊かな未来の実現

★街づくり

★新事業／新産業創出



・新商品／新事業企画
・研究開発事業化プロジェクト
・街づくりプロジェクト

等

合計951機関：国内573機関(24都府県)、国外378機関(34カ国) 2023.9現在



KGAP+ Batch1 Kickoff Week 2019.7.22-26



けいはんな万博の概要



開催テーマ

『未来社会への貢献 ～次世代への解～』4つのテーマで

開催時期

2025年(令和7年)4月～同年10月

※機運醸成のため前年から実施する事業、未来に続くレガシーとして期間終了後に継続する事業がある。

開催場所

けいはんな学研都市の全域が連携して一体的に実施

※仮想空間も積極的に活用し、夢洲だけでなく世界とも連携する。

催事

FESTIVAL #1

ロボット・アバター・ICT

けいはんな学研都市を
ロボットやアバターで
賑やかな街に。

ロボット大運動会
アバターチャレンジ
仮想空間、モビリティの活用

FESTIVAL #2

ウェルビーイング

よりよく生きるために。
食・健康・環境から「ウェル
ビーイング」の未来を考える。

ウェルビーイング祭典
マルシェ、ロボカフェ
茶の活用

FESTIVAL #3

スタートアップ

けいはんな学研都市を
スタートアップが競って
集まる街に。

KGAP+、KOSAINN+な
ど既存事業の枠組も活用し、
国際的なピッチ会等を開催

FESTIVAL #4

サイエンス & アート

科学と文化の融合による
新たな価値の創造。

サイエンス & アート作品展
各種のワークショップ
コンサート、美術展

国際会議

様々なシンポジウム、講演会、討論会等を国際色豊かに開催
フェスティバルのテーマに合わせて学会や国際会議を招致

世界の賢人がけいはんなから
未来へのメッセージを発信

長期的な取組

＞ オープンラボ/テックツアー けいはんな学研都市の魅力発信・オープンイノベーション拠点の機能強化・観光ルートの形成

＞ 仮想空間の活用 けいはんな万博に関する情報発信、遠隔地の人々との交流など仮想コモンズとして活用

＞ コモンズの活用 様々な分野、立場の人々が交流し、総合知により新たな価値を生み出す場の創出

＞ 「学際(GAKUSAI)」プロジェクト 「(仮称)けいはんな大学」の学生による学園祭の開催



開催時期

2025年4月(予定)

※大阪・関西万博のテーマウィークの日程により変更の場合あり。

趣 旨

けいはんな学研都市をロボットやアバターで賑やかな街に。人間の活動を助け、豊かにする様々なロボット・アバターの紹介、さらにコンピュータや通信技術、仮想空間の活用、モビリティの活用等について展覧し、「ロボット・アバター・ICT」と共に生きる未来を考えます。

概 要

1 シンポジウム・講演会

○「ロボット・アバター・ICT」をテーマに、多くのシンポジウム、講演会等を国際色豊かに展開。また、学生やこども向けの教育プログラム等も用意。



2 「ロボット大運動会」等の開催

○ロボットやアバター、AIや量子コンピュータ、メタバース等に関する最新研究、技術等をわかりやすく展示。

○「**アバターチャレンジ**」をはじめ、様々なロボットやアバターが競技する「**ロボット大運動会**」を開催。

○一般の方、学生、こどもなども参加できるものづくりのコミュニティを拡大。

○大阪・関西万博会場と結んだロボット・アバターの遠隔操作も検討中。



3 共生のための実証実験

○「**ロボカフェ**」など生活の様々な場面で、ロボットやアバターが活躍している街づくり。

○先進的なモビリティやMaaS等の実証実験の実施。

